

令和6年度文京区子どもの学習・生活支援事業業務委託プロポーザル質問に対する回答

令和6年7月25日

NO	質問受領日	質問内容	回答
1	7月22日	【様式6号】 過去の受託事業実施の際に使用したPR用パンフレット、教材等の資料添付について、当該様式に記載する全業務について添付資料が必要でしょうか。 また添付は正、副、選定用の全11部必要でしょうか。	全業務について添付する必要はございません。 添付につきましては、正、副、選定用の全11部必要になります。
2	7月22日	【受託体制】 主任支援員を3名配置とありますが、勤務時間の想定があればお示しください。（例：週あたり20時間等）	勤務時間の指定はございません。小・中・高各学習支援事業のそれぞれのマネジメントや相談対応、区への報告・連絡調整などを含め、仕様書の業務について適切に実施することのできる勤務体制の確保が必要です。
3	7月22日	【実施内容】 面談において生活環境等の状況を確認し、学習支援会場を決定する、とありますが、決定するのは区でしょうか。仮に受託者の場合は、どのような基準で会場を決定するかお示しください	基本的には受託者が支援対象者及び保護者との3者面談の際に利用者の会場希望を聞きとって、区と協議し決定します。
4	7月22日	【実施内容】 週14コマは、年間で計算した場合は、14コマ×52週＝728コマの見込みでしょうか。2024年度、2023年度の実数をお示しください。	GW、年末年始等の長期休みや年度初めの事業開始準備期間等の実施できない期間を除き、週14コマ実施します。詳細なスケジュールについては区と調整して決定します。 2024年度 174コマ（うちオンライン10コマ） 2023年度 795コマ（うちオンライン219コマ） ※通常の曜日に通うことができなかった等の理由から、別日でオンライン授業を実施した数も含めています。
5	7月22日	【実施内容】 1コマに受け入れる児童・生徒の人数の目安をお示しください。（小・中・高でそれぞれお願いします。）	小 1会場10名程度 中 1会場11名程度 高 6名程度 ただし、会場ごとに登録数も異なるため、前後する可能性があります。
6	7月22日	【実施内容】 模擬試験を年3回、高校生は年1回とありますが、模擬試験の指定はございますか。（例：Vもぎなど。）	特に指定はありません。生徒の状況に合わせて適切な試験を提供してください。

令和6年度文京区子どもの学習・生活支援事業業務委託プロポーザル質問に対する回答

令和6年7月25日

NO	質問受領日	質問内容	回答
7	7月22日	【実施内容】 事業チラシについて、2024年度に配布した内容をお示ください。	内容としては事業内容、申込方法、申込から受講までの流れ、問合せ先等を記載した両面刷りのA4チラシ（小中1枚、高校生世代1枚）になります。 （対象のご家庭のみに配付する資料となっております実物を全体公開することはできません。）
8	7月22日	【実施内容】 小学生、中学生は、1名につき、年間何コマ、もしくは、週何コマの受講を予定されていますか。	1名につき週2コマ程度を想定しています。
9	7月22日	【実施内容】 乙が用意する会場は居場所機能を有するものとありますが、週何回程度の受け入れを想定されていますか。	基本的に授業の実施に伴って会場が開いている日は居場所の受入も行うものと想定しております。 現在は会場が週4、5回程度開いているので、週4、5回程度受け入れをしています。
10	7月22日	区への報告担当者の記載欄がありますが、これは主任支援員とは異なる内容、報告を指しますか。どのような役割を想定されているかお示ください。	基本的には主任支援員を想定しています。

令和6年度文京区子どもの学習・生活支援事業業務委託プロポーザル質問に対する回答

令和6年7月25日

NO	質問受領日	質問内容	回答
13	7月23日	実施回数について、小・中学生は週14コマ程度実施とありますが、14コマとは週に開講する日時が14あるという認識で相違ないでしょうか。想定しているパターン等あれば、具体的にご教示ください。	週14コマ程度とは、1コマ＝2時間の授業を1週間のうちで14回程度実施するという意味です。 現在の実態を加味した想定としては1会場につき週2回程度、1回あたり2コマ（小1コマ、中1コマ）、4会場で実施するパターンです。
14	7月23日	小・中学生それぞれにおいて、1人あたり週何回の実施回数を想定しているかご教示ください。実績ではなく、中学生は週2日支援する想定といった決まりがあれば教えていただきたいです。	1名につき週2回程度を想定しています。
15	7月23日	過去年度および本年度における学習支援実施回数について、小・中学生および高校生世代等それぞれご教示ください。	No.11のとおりです。
16	7月23日	過去年度および本年度の受託事業者、および委託金額についてご教示ください。	令和4年度 小・中 23,451,220円 高 21,354,740円 令和5年度 小・中 23,952,592円 高 21,539,540円 令和6年度 小・中 26,213,688円 高 21,850,400円
17	7月23日	過去年度および本年度の小・中学生、および高校生世代等の対象者数をご教示ください。	No.11のとおりです。
18	7月23日	乙が用意する会場とは、公民館等を借りて会場とすることは差し支えないでしょうか。	公民館等の区有施設については、事業利用のために継続して利用できる会場がないことを確認しております。
19	7月23日	本事業の対象者となる方々の抱える課題について、貴自治体における特徴等がありましたらご教示ください。	経済的困窮に加え、親子関係の悪化、学校生活への不適應など様々な課題があり、学習への意欲向上や学習習慣の定着が難しい場合があるため、生徒や保護者に寄り添った精神的な支援が必要になります。 また、周り比べて相対的に貧困を感じやすい環境にあるため、精神的な支えとなることや体験不足の補完のために文化活動等の体験活動を実施し、生活面、社会面での支援を充実させることが必要であると考えております。

令和6年度文京区子どもの学習・生活支援事業業務委託プロポーザル質問に対する回答

令和6年7月25日

NO	質問受領日	質問内容	回答
20	7月23日	本事業の推進にあたり、特に課題となるとご認識されている点等ありましたらご教示ください。	保護者を含めた相談支援により家庭全体を支えていくことや、進学・進路に関する情報提供を含めた伴走型の相談支援、様々な体験活動の実施など、学習面だけでなく生活面、社会面での支援の強化です。
21	7月23日	本事業の目標値となる項目、および数値がありましたらご教示ください。	具体的な数値目標はございませんが、事業としては生徒・世帯の状況に応じた進路先の決定を目標としております。
22	7月23日	本事業における過去年度までの成果（達成事項）と来年度以降の課題（未達成事項）等についてご教示ください。	成果としては昨年度、中3生、高3生ともに進学率が100%だったことです。課題としては、中3生が高校生学習支援事業の利用に繋がる割合が低く、支援の切れ目があることです。なるべく多くの生徒が高校生事業の利用にも繋がり、中退防止や進路選択に向けたサポートを継続的に実施していきたいと考えています。
23	7月23日	貴自治体では地域性から進学を目指す方が多いかと思いますが、受験における指導力は、審査においてどの程度重要視されていますでしょうか。また受験に関して課題となっていることや大事にすべき考え方等あれば併せてご教示ください。	申し訳ございませんが、審査基準に関連する質問はお答えしかねます。受験においては、受験先や受験の方式などの情報収集が重要だと考えており、生徒や保護者の状況に応じて受験に関する情報収集の補助や受験に向けた伴走型の支援を行い、生徒に寄り添った進路選択のサポートをしていくことを大事にしています。
24	7月23日	弊社は近隣区で実績ありますが、貴自治体内で拠点を設けた事業は実施しておりません。現事業者は文京区に根付いている事業者かと存じますが、貴自治体内での実績や活動は評価に影響を与えますでしょうか。	評価に影響いたしません。
25	7月23日	今回のスケジュールは、令和7年度の事業の公募時期としては早い日程を組まれているかと思いますが、早期に公募を行った意図は何かございますでしょうか。また、結果通知が早いことを踏まえ、提案者として考慮しておくべき事項があればご教示ください。	事業を開始するにあたり、区との事前調整や会場の確保、実施準備の期間が必要になるためです。
26	7月23日	募集要項「14 個人情報の保護について」において、（3）オ「個人情報を取り扱うパソコンにインターネットを接続することを禁止する。」とありますが、クラウドサービスを利用することも禁止でしょうか。	クラウドサービス利用につきましては、利用目的、取り扱う情報等を区と協議したうえで、利用可否について決定いたします。
27	7月23日	企画提案書類等作成要領「オ 人員体制」において、経験年数、資格について記入することとなっておりますが、補助支援員についても、これらの情報を記載することが必須でしょうか。	補助支援員の記載は必須ではありません。